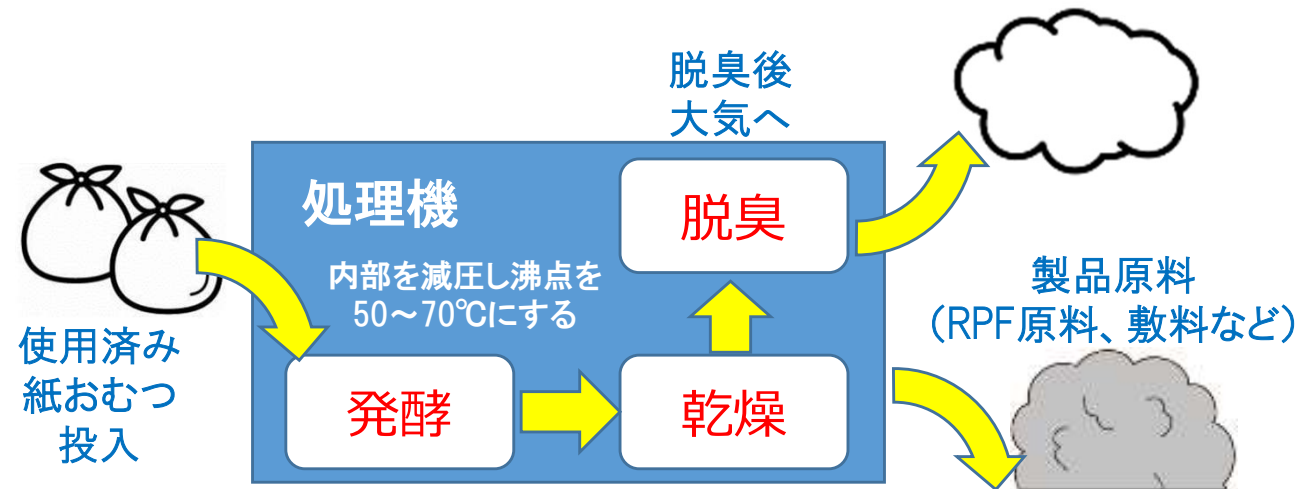


4-2 微生物分解処理

減圧状態にて微生物で発酵・乾燥して製品原料化(RPF原料、敷料など)



処理イメージ図

- ・対象物を投入し、内部を減圧し沸点を50～70℃にして殺菌・(脱臭)・乾燥をおこなう。運転中は好気性土着菌の働きにより、原料内のアンモニア等を分解し悪臭発生を抑制し、発生した蒸気も脱臭にも好気性土着菌を使用し、脱臭する。
- ・遠隔監視システムにてERSシステムの運転状況をリアルタイムに確認でき、異常発生の場合はPC・スマートフォン等にメールにて通知が届く。
- ・生成物はサーマルリサイクル(燃料としての利用)・マテリアルリサイクル(製品原料としての利用)として産業界に提供する。